



木造千手観音立像

像高 168.4cm (頂上仏含む) (157.3cm (髻高))
 髪際高 139.4cm
 平安時代 (10世紀末)



附 木造不動明王立像

像高 75.3cm
 髪際高 69.8cm
 室町時代 (14世紀中頃~後半)



附 木造毘沙門天立像

像高 77.7cm (98.7cm(邪鬼含む))
 髪際高 66.0cm
 室町時代 (14世紀中頃~後半)

猿投神社所蔵の千手観音立像が愛知県指定文化財に指定されました。

この仏像は、猿投神社の北東約 300m にある山中観音堂の本尊である千手観音立像で同神社の神宮寺にあった仏像と伝えられています。

神仏分離により神宮寺の本地仏(本尊)を失った神社の多いなかで、この仏像は隣接地に現存する旧神宮寺仏像として、平安時代の神仏習合の様相を今に伝える貴重な文化財です。

また、愛知県内に指定文化財として現存する8件の千手観音像(彫刻)のなかで、最古かつ最大級の像でもあります。

豊田市郷土資料館 交通案内

- 名鉄梅坪駅より南へ徒歩約 10 分
名鉄豊田市駅より北へ徒歩約 15 分
- とよたおいでんバス「陣中町一丁目」
下車徒歩約 5 分
- 東名豊田インターより約 15 分
伊勢湾岸自動車道 豊田東インターより約 15 分

山中観音堂 交通案内

- 猿投神社 山中観音堂
〒470-0361 豊田市猿投町大城 7 番地 3
- とよたおいでんバス「猿投神社前」
下車徒歩約 7 分
- 猿投グリーンロード
猿投インターより約 4 分